



災害を観る

VISUALIZING DISASTER
RISK REDUCTION

2020 TOYAMA, JAPAN

令和元年度シンポジウム

地球を観る、 災害を観る

2020.6.9/6.10

2019年は令和を迎えた最初の年であるにも関わらず、災害が多発・激化する一年であった。その背景には地球温暖化に伴う異常気象や、都市化に伴う暮らし方の変化が大きく影響しているといっても過言ではない。そこで、「地球の気候はどのように変わり、自然災害はどのように変化しているか」を「観る」とともに、それを乗り越えるために「我々の社会はどう備えるべきか」を「観る」。また、人間・社会側として「激甚化する自然災害への体制はどうあるべきか」を「観る」ことは、喫緊の課題である。

本シンポジウムは、富山大学に新しく組織された「理学・工学・社会科学」の融合である「都市デザイン学部」を中心に、「令和元年の災害」を事例として、3つの科学から多面的に自然災害に対する「予測力・予防力・対応力」について考える。

基調講演・話題提供者

- 林 春男 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長
関 克己 公益財団法人 河川財団理事長
三隅 良平 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
水土砂防災研究部門・部門長 他多数

主催：富山大学 都市デザイン学部

共催：NHK富山放送局、JST-CREST「CyborgCrowd：柔軟でスケーラブルな人と機械の知力集約（代表：森嶋厚行）」、
環境省推進費「2-1904：気候変動影響評価のための日本域の異常天候ストーリーラインの構築（代表：高藪緑）」、
環境省推進費「2-1905：気候変動に伴う都市災害への適応（代表：稲津将）」、防災科学技術研究所、他
災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）防災リテラシー部会

後援：公益社団法人日本技術士会北陸本部

6.9 [火] 午後（1日目）

「～気候変化と自然災害の変化を観る～
～令和元年の災害を観る～」

場所：Zoom会議室

時間：6月9日（火）13:00～16:40（12:30より接続可能）

ミーティングID：961 4009 6684

パスワード：019776

6.10 [水] 午後（2日目）

「～令和元年の災害にまなび、
次の世代の災害対応を観る～」

場所：Zoom会議室

時間：6月10日（水）13:00～15:00（12:30より接続可能）

ミーティングID：989 1051 7255

パスワード：974431

- ・シンポジウム当日はZoom会議室にて、参加者限定で開催します。
- ・シンポジウムの内容は録画し、編集した後にWeb上で配信いたします。

[公式HP]

<http://gclab.sus.u-toyama.ac.jp/vd/>



地球を観る、災害を観る／プログラム



災害を観る

VISUALIZING DISASTER
RISK REDUCTION
2020 TOYAMA, JAPAN

6.9

(1日目)

「～気候変化と自然災害の変化を観る～ 令和元年の災害を観る～」

13:00

開会の挨拶および趣旨説明
渡邊 了 (富山大学 都市デザイン学部 学部長)

第1部 「予測力」を観る

13:10

話題提供1-1 「全球的な観点からの気候変動」
塩竈 秀夫 (国立研究開発法人 国立環境研究所 地球環境研究センター 室長)

話題提供1-2 「地域的な観点からの気候変動」
高薮 出 (気象庁 気象研究所 気候・環境研究部 主任研究官)

話題提供1-3 「平成30年豪雨、令和元年の豪雨について」
三隅 良平 (国立研究開発法人 防災科学技術研究所 水・土砂防災研究部門 部門長)

話題提供1-4 「気候変動情報の生かし方 (自治体との気候適応策)」
稲津 将 (北海道大学 教授)・日下 博幸 (筑波大学 教授)・竹見 哲也 (京都大学 教授) 研究チーム

話題提供1-5 「富山の気候変動」
濱田 篤 (富山大学 都市デザイン学部 地球システム科学科 准教授)

第2部 「予防力」を観る

15:00

話題提供2-1 「富山の治水を観る」
石井 宏幸 (北陸地方整備局 富山河川国道事務所 所長)

話題提供2-2 「ライフラインの被災と対応に関する最近の動向」
能島 暢呂 (岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 教授)

話題提供2-3 「鉄道の防災・復旧に関する現状と課題 (新幹線と在来線の事例から)」
金山 洋一 (富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 教授)

基調講演2 「地球温暖化にともなうわが国の水防災意識社会のあり方」
関 克己 (公益財団法人 河川財団 理事長)

パネルディスカッション

(後日)

「予測力を予防力に生かす」
モデレータ: 安永 数明 (富山大学 都市デザイン学部 教授)・鹿沼 健介 (NHK富山放送局 アナウンサー)
パネラー : 議論テーマにより講演者を選抜予定

6.10

(2日目)

「～令和元年の災害にまなび、次の世代の災害対応を観る～」

第3部 「対応力」を観る

13:00

話題提供3-1 「令和元年災害の状況見積と対応の一手」
井ノ口 宗成 (富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 准教授)

話題提供3-2 「流域雨量指数や危険度分布から見た中小河川の洪水災害」
高木 康伸 (内閣官房副長官補 (事態対応・危機管理担当) 付 参事官補佐)

話題提供3-3 「応援・受援体制から見た災害対応」
大崎 達也 (新潟県 防災局 危機対策課 参事)

基調講演3 「令和元年災害から次の世代の災害を観る」
林 春男 (国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長)

パネルディスカッション

(後日)

「次世代の災害対応を観る」
モデレータ: 井ノ口 宗成 (富山大学 都市デザイン学部 准教授)・鹿沼 健介 (NHK富山放送局 アナウンサー)
パネラー : 議論テーマにより講演者を選抜予定

閉会の挨拶 齋藤 滋 (富山大学 学長)